

平成 29 年 10 月

(第 1 回)

京 都 府 教 育 委 員 会 会 議 録

1 開 会 平成29年10月11日 午後2時00分  
閉 会 平成29年10月11日 午後2時30分

2 出席委員等

橋 本	教育長	畑	委 員	平 塚	委 員
上 原	委 員	安 藤	委 員	千	委 員

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

小 橋	教育次長	前 川	教育監
西 村	管理部長	細 野	指導部長
絹 谷	総務企画課長	相 馬	高校教育課担当課長
田 尻	総務企画課副課長	下 村	総務企画課副課長
岡	総務企画課副主査	奥 村	総務企画課主事

## 5 議事の概要

### (1) 開会

教育長が開会を宣告

### (2) 前会議録の承認

ア 9月分1回の会議録について、全出席委員異議なく、これを承認した。

### (3) 報告事項

ア 臨時代理議決の報告について

(7) 第46号議案 平成29年9月府議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見について

#### 【総務企画課長の報告】

- 平成29年9月府議会定例会提出見込議案その2のうち、知事から意見を求められた教育委員会関係議案1件について、異議がない旨の教育長臨時代理議決を行った。
- 平成29年度京都府一般会計補正予算第3号は、台風18号で被害を受けた施設等の災害復旧事業をとりまとめたものである。
- 台風第18号の被害の状況は学校施設で府立学校14校、小中学校12校、文化財で国指定のものが4件、府指定のものが3件であり、その中で被害の規模が比較的大きく復旧工事が必要なものについて補正予算措置を講じることとした。
- 文化財災害復旧事業費として成相寺や竹野神社文化財環境保全地区などの復旧工事に対して助成を行うとともに、府立学校施設災害復旧事業費として宮津高校や峰山高校弥栄分校において、汚泥や土砂の撤去といった復旧工事を実施するものである。

イ 請願・陳情等の受理状況について

(7) 地域産業を支える人材育成支援に係る要望について

#### 【相馬高校教育課担当課長の報告】

- 府立工業高校に関連して、福知山商工会議所等4団体から教育長あてに要望書が提出された。
- 要望の内容は、第1に、京都府立工業高等学校の充実として、中学生や保護者にとって魅力ある専門学科の設置及び再編、新たな技術を学べる設備機器の導入、災害が多発する福知山・綾部地域のインフラを支える技術者の育成のための施設・設備の設置及び更新、新たな技術に対応できる教員等の確保。
- 第2に、福知山市・綾部市の産業、生活インフラを支え、中小企業の人手不

足解消、地元企業への就職による人口減少対策等、広く地域全体を支えるため工業科生徒の募集定員増の実現。

- 第3に、より強固な産学連携に向けて、福知山市の知の拠点整備構想への府の支援、となっている。
- なお、現在、工業高校の同窓会が中心となって、生徒が就職した先の企業など地元産業界の設備機器の充実のために寄付の働きかけをいただいている。
- 今回の要望は、そうした寄付を初めとして産業界からも支援をしていくので、府としても支援をしてほしいという思いから出されたものと考えている。
- 府立工業高校については、先般、報告したとおり、学科改編を行い、この平成30年度選抜から新たな学科での新入生を迎えることとしている。
- この改編も含め、工業科等の専門学科に係る所要の設備機器については、以前、教育委員会で委員からもご意見をいただいたとおり充実した専門教育が行われるよう、必要な予算確保に向け努力したい。

#### 【質疑応答】

- 平塚委員  
京都府下で工業系の学校は何校あるのか。
- 相馬高校教育課担当課長  
田辺高校、南丹高校、工業高校、宮津高校、峰山高校の5校である。
- 平塚委員  
工業高校の就職率はどれくらいか。
- 前川教育監  
半分くらいである。
- 平塚委員  
工業高校にCADのような設備はあるのか。
- 相馬高校教育課担当課長  
CADは取り入れている。平成の初めに学科改編をした際に大規模な施設設備を入れたが、それについては老朽化している。
- 橋本教育長  
ものづくり系の企業は人手不足である。工業高校は卒業して就職する生徒も多く、就職者の多くが地元中丹地域の企業に就職しているが、大阪等で就職する生徒も少なくない。地元就職する生徒をさらに増やしてほしいという思いで要望されたのではないか。
- 畑委員  
企業の考えていることと、学校などの教育現場で考えていることにズレがあると思う。企業から技術者を派遣してもらったり、学習用の機械を寄贈してもらったりとどんどん改革を進めていってほしい。
- 橋本教育長  
校長が先行して備品をもらえるよう企業に働きかけを行っている。また、学校現場で最先端の設備整備をし続けるのには限界があるので、企業に対して人材を派遣してもらい学ぶということが必要になってくる。
- 上原委員  
すごいスピードで機械や物事が更新されているが、教員が一般企業に研修に行き新たな技術を習得することなどはしているのか。
- 相馬高校教育課担当課長

長期的な研修もあるが、必ず毎年工業科が受けられるものではない。そのため地域の企業に出向き、そこで新しい技術に触れるという機会が持てるよう連携している。

○ 畑委員

東ロボくんを育成されていた教授の講演を聞いたが、ロボットにできることはロボットに任せて、その代わり2030年に人間はどういう人間になっているべきかということを見極めて教育をしていくべきという内容であった。

○ 安藤委員

学校に最先端のものがあるとより学びが深まると思う。高校生は地元に対して地域交流、地域貢献などを行っているのか。

○ 相馬高校教育課担当課長

工業高校では、地元の企業に行き体験したり、地元の企業に学校に来ていただいたりしている。また、企業以外との連携・交流として様々な形で地域でのボランティア活動なども行っている。

(4) 議決事項

ア 第47号議案 平成29年度京都府教育功労者表彰の受賞者の決定について【非公開】

[原案どおり可決]

イ 第48号議案 平成29年度京都府教育委員会附属機関の委員等表彰の受賞者の決定について【非公開】

[原案どおり可決]

(5) その他

ア 公開しないこととする議決について

(京都府教育委員会会議規則第15条第1項第1号)

議決事項について、全出席委員異議なく、公開しないこととするに議決。

(6) 閉会

教育長が閉会を宣告

